安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	34-8561-2	**版**	1.00
発行日	2025/06/30	**前発行日**	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ Scotch-Weld™ Elastomeric Coating EC-5816

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
コーティング

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	エアロスペース ＆ ディフェンスビジネス
電話番号	ナビダイヤル　0570-011-511　受付時間/８：４５～１７：１５　月～金（土・日・祝日は除く）

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分２
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分１
生殖毒性：区分１
発がん性： 区分１
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分３
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分２
水生環境有害性 短期（急性）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル

炎　腐食性　感嘆符　健康有害性

ピクトグラム

危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H318	重篤な眼の損傷
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H350	発がんのおそれ
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 皮膚
H402	水生生物に有害

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
テトラヒドロフラン	109-99-9	58
熱可塑性ポリウレタン	営業秘密	5.0 - 15
ベンジル＝３－（イソブチリルオキシ）－１－イソプロピル－２，２－ジメチルプロピル＝フタラート	16883-83-3	1.0 - 10
メチルエチルケトン	78-93-3	8.6
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	7.4
Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	68-12-2	6.1
塩素化アルカン（C20-28）	2097144-43-7	< 5.0
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	1.8
シクロヘキサン	110-82-7	1.0
ヘキサン	110-54-3	0.50
メチルイソブチルケトン	108-10-1	0.50
トルエン	108-88-3	0.50

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

気道を刺激する（咳、くしゃみ、鼻汁、頭痛、嗄声、鼻や喉の痛み）。 眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。 中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。 長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
炭化水素類	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
アンチモン酸化物	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。　ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　新鮮な空気でその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤

を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　金属製の容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　静電気放電に対する予防措置を講ずること。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　環境への放出を避けること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。　指定された個人保護具を使用する。　着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。　輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ACGIH	TWA：20ppm、STEL：75ppm	A3: 動物発がん性物質
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	JSOH OELs	TWA(推奨)(8時間):82 mg/m3 (20ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。（皮膚）
トルエン	108-88-3	ACGIH	TWA：20 ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質。耳毒性物質。
トルエン	108-88-3	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
トルエン	108-88-3	JSOH OELs	TWA（８時間）：188 mg/m3(50 ppm)	皮膚
テトラヒドロフラン	109-99-9	ACGIH	TWA：50ppm、STEL：100ppm	皮膚吸収の危険性。 A3: 動物に対して発がん性が確認された物質であるが、人への関連性は不明

テトラヒドロフラン	109-99-9	ISHL	TLV（８時間）：50 ppm	
テトラヒドロフラン	109-99-9	JSOH OELs	TWA(8時間):148 mg/m3(50 ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。（皮膚）
ヘキサン	110-54-3	ACGIH	TWA：50ppm	皮膚吸収の危険性。
ヘキサン	110-54-3	ISHL	TLV（８時間）：40 ppm	
ヘキサン、すべての異性体	110-54-3	JSOH OELs	TWA（８時間）：140 mg/m3（40 ppm）	皮膚
シクロヘキサン	110-82-7	ACGIH	TWA：100 ppm	
シクロヘキサン	110-82-7	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):100 ppm	25℃1気圧空気中
シクロヘキサン	110-82-7	JSOH OELs	TWA（８時間）：520 mg/m3(150 ppm)	
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	ACGIH	TWA（吸入分画）:0.02mg/m3	A2:ヒトに対して発がん性が疑われる物質
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	ISHL	TLV （8時間）: 0.1 mg/m3	
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	JSOH OELs	TWA（アンチモンとして）（８時間）：0.1 mg/m3	２A:ヒトに対しておそらく発がん性がある
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8 時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8 時間):0.3 mg/m3;TWA（提案)(8 時間):0.3 mg/m3	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	68-12-2	ACGIH	TWA：5ppm	皮膚吸収の危険性。 A3: 動物に対して発がん性が確認された物質であるが、人への関連性は不明
Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	68-12-2	ISHL	TLV（８時間）：10 ppm	
Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	68-12-2	JSOH OELs	TWA(8時間):30 mg/m3(10 ppm)	2A: ヒトに対しておそらく発がん性がある。皮膚。
メチルエチルケトン	78-93-3	ACGIH	TWA:75 ppm;STEL:150 ppm	皮膚吸収の危険性。
メチルエチルケトン	78-93-3	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	JSOH OELs	TWA（推奨)(8 時間):221 mg/m3（75 ppm）	皮膚

ACGIH ： American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA ： American Industrial Hygiene Association
ISHL ： 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) ： 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs ： 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。　防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	白色
臭い	刺激的な溶剤臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	66.1 °C［*詳細：*THF］
引火点	-14.4 °C ［*試験方法：*クローズドカップ法］［*詳細：*(THFに基づく)］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	引火性液体： 区分２
燃焼点（下限）	2 容量%［*詳細：*(THFに基づく)］
燃焼点（上限）	11.8 容量%［*詳細：*(THFに基づく)］

蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	1.017 g/ml
比重	1.017 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	微量（<10%）
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	<=810 g/l ［*試験方法：*EPA method 24］
揮発分	<=81 重量%［*試験方法：*ASTMプロトコルに基づく試験］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	<=810 g/l ［*試験方法：*EPA method 24］
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合
化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合
飲み込むと、健康障害を起こすことがある。　胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。
その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
中枢神経機能の抑制：　頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

長時間又は反復暴露した場合：
線維症： 無呼吸、慢性的空咳、痰、喘鳴及び肺機能検査結果の変化などの症状。　皮膚への影響： 発赤、かゆみ、ニキビ様吹き出物、腫れ物などの症状。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性
発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg

製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
テトラヒドロフラン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
テトラヒドロフラン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 54 mg/l
テトラヒドロフラン	経口摂取	ラット	LD50 1,650 mg/kg
メチルエチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 8,050 mg/kg
メチルエチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 34.5 mg/l
メチルエチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 2,737 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
N，N－ジメチルホルムアミド	皮膚	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
N，N－ジメチルホルムアミド	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 5.9 mg/l
N，N－ジメチルホルムアミド	経口摂取	ラット	LD50 3,010 mg/kg
酸化アンチモン（３＋）	皮膚	ウサギ	LD50 > 6,685 mg/kg
酸化アンチモン（３＋）	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.76 mg/l
酸化アンチモン（３＋）	経口摂取	ラット	LD50 > 34,600 mg/kg
ヘキサン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ヘキサン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 170 mg/l
ヘキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 28,700 mg/kg
シクロヘキサン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
シクロヘキサン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 32.9 mg/l
シクロヘキサン	経口摂取	ラット	LD50 6,200 mg/kg
メチルイソブチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 16,000 mg/kg
メチルイソブチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 11 mg/l
メチルイソブチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 3,038 mg/kg
トルエン	皮膚	ラット	LD50 12,000 mg/kg
トルエン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 30 mg/l
トルエン	経口摂取	ラット	LD50 5,550 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフラン	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
メチルエチルケトン	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
N，N－ジメチルホルムアミド	ウサギ	刺激性なし
酸化アンチモン（３＋）	ヒト及び動物	ごく僅かな刺激臭
ヘキサン	ヒト及び動物	軽度の刺激
シクロヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
トルエン	ウサギ	刺激物

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフラン	ウサギ	腐食性
メチルエチルケトン	ウサギ	激しい刺激
酸化チタン(Ⅳ)	ウサギ	刺激性なし
N，N－ジメチルホルムアミド	ウサギ	激しい刺激
酸化アンチモン（３＋）	ウサギ	軽度の刺激
ヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
シクロヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
トルエン	ウサギ	中程度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフラン	ヒト及び動物	区分に該当しない。
酸化チタン(Ⅳ)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
N，N－ジメチルホルムアミド	多種類の動物種	区分に該当しない。
酸化アンチモン（３＋）	ヒト	区分に該当しない。
ヘキサン	ヒト	区分に該当しない。
メチルイソブチルケトン	モルモット	区分に該当しない。
トルエン	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
テトラヒドロフラン	In vitro	変異原性なし
テトラヒドロフラン	In vivo	変異原性なし
メチルエチルケトン	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(Ⅳ)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(Ⅳ)	In vivo	変異原性なし
N，N－ジメチルホルムアミド	In vitro	変異原性なし
N，N－ジメチルホルムアミド	In vivo	変異原性なし
酸化アンチモン（３＋）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化アンチモン（３＋）	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
ヘキサン	In vitro	変異原性なし
ヘキサン	In vivo	変異原性なし
シクロヘキサン	In vitro	変異原性なし
シクロヘキサン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルイソブチルケトン	In vitro	変異原性なし
トルエン	In vitro	変異原性なし
トルエン	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフラン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
メチルエチルケトン	吸入した場合	ヒト	発がん性なし
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
N，N－ジメチルホルムアミド	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
N，N－ジメチルホルムアミド	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
ヘキサン	皮膚	マウス	発がん性なし
ヘキサン	吸入した場合	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
トルエン	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	吸入した場合	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
テトラヒドロフラン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 782 mg/kg/日	2 世代
テトラヒドロフラン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 782 mg/kg/日	2 世代
テトラヒドロフラン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 305 mg/kg/日	2 世代
テトラヒドロフラン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1.8 mg/l	妊娠期間中
メチルエチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 8.8 mg/l	妊娠期間中
N，N－ジメチルホルムアミド	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 219 mg/kg/日	2 世代
N，N－ジメチルホルムアミド	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	マウス	NOAEL 219 mg/kg/日	2 世代
N，N－ジメチルホルムアミド	皮膚	発生機能に有毒	ウサギ	LOAEL 100 mg/kg/日	器官発生期
N，N－ジメチルホルムアミド	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 165 mg/kg/日	器官発生期
N，N－ジメチルホルムアミド	吸入した場合	発生機能に有毒	ウサギ	NOAEL 0.45 mg/l	器官発生期
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.25 mg/l	交配前および妊娠中。
ヘキサン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 2,200 mg/kg/日	器官発生期

ヘキサン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.7 mg/l	妊娠期間中
ヘキサン	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 1,140 mg/kg/日	90 日
ヘキサン	吸入した場合	雄性生殖機能に有毒	ラット	LOAEL 3.52 mg/l	28 日
シクロヘキサン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24 mg/l	2 世代
シクロヘキサン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24 mg/l	2 世代
シクロヘキサン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6.9 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	器官発生期
トルエン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.3 mg/l	1 世代
トルエン	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	LOAEL 520 mg/kg/日	妊娠期間中
トルエン	吸入した場合	発生機能に有毒	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
テトラヒドロフラン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
テトラヒドロフラン	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。		NOAEL 入手できない	
テトラヒドロフラン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2.9 mg/l	4 時間
テトラヒドロフラン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	NOAEL 180 mg/kg	適用しない。
メチルエチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	適用しない。
メチルエチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1,080 mg/kg	適用しない。
N，N－ジメチルホルムアミド	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 入手できない	
ヘキサン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	入手できない

ヘキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ウサギ	NOAEL 入手できない	8 時間
ヘキサン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24.6 mg/l	8 時間
シクロヘキサン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
シクロヘキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
シクロヘキサン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	LOAEL 0.1 mg/l	2 時間
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	脈管系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 入手できない	入手できない
メチルイソブチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 900 mg/kg	適用しない。
トルエン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
トルエン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
トルエン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 0.004 mg/l	3 時間
トルエン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
テトラヒドロフラン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	12 週
テトラヒドロフラン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.9 mg/l	12 週
テトラヒドロフラン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	105 週
テトラヒドロフラン	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 入手できない	2 週
メチルエチルケトン	皮膚	神経系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	31 週
メチルエチルケトン	吸入した場合	肝臓 | 腎臓および膀胱 | 心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 免疫システム | 筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	7 日
メチルエチルケトン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 173 mg/kg/day	90 日
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
N，N－ジメチルホルムアミド	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 0.61 mg/l	90 日
N，N－ジメチルホルムアミド	吸入した場合	心臓 | 造血器系 | 免疫システム |	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.43 mg/l	90 日

		腎臓および膀胱 ｜ 皮膚 ｜ 内分泌系 ｜ 消化管 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 筋肉 ｜ 神経系 ｜ 眼 ｜ 呼吸器系 ｜ 脈管系				
N，Nージメチルホルムアミド	経口摂取	造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 消化管 ｜ 神経系 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	90 日
酸化アンチモン（３＋）	皮膚	皮膚	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	肺線維症	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 0.002 mg/l	1 年
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.043 mg/l	1 年
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.004 mg/l	入手できない
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	LOAEL 0.01 mg/l	職業性被ばく
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.02 mg/l	1 年
酸化アンチモン（３＋）	経口摂取	血液 ｜ 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 418 mg/kg/day	入手できない
酸化アンチモン（３＋）	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	入手できない
ヘキサン	吸入した場合	末梢神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ヘキサン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	LOAEL 1.76 mg/l	13 週
ヘキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	6 月
ヘキサン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1.76 mg/l	6 月
ヘキサン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 35.2 mg/l	13 週
ヘキサン	吸入した場合	聴覚系 ｜ 免疫システム ｜ 眼	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ヘキサン	吸入した場合	心臓 ｜ 皮膚 ｜ 内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.76 mg/l	6 月
ヘキサン	経口摂取	末梢神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,140 mg/kg/day	90 日
ヘキサン	経口摂取	内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 免疫システム ｜ 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	13 週
シクロヘキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24 mg/l	90 日
シクロヘキサン	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.7 mg/l	90 日
シクロヘキサン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2.7 mg/l	10 週
シクロヘキサン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 24 mg/l	14 週
シクロヘキサン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.6 mg/l	30 週
メチルイソブチルケト	吸入した	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.41	13 週

ン	場合				mg/l	
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.8 mg/l	2 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.4 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.1 mg/l	14 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	内分泌系 ｜ 造血器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	心臓 ｜ 免疫システム ｜ 筋肉 ｜ 神経系 ｜ 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/day	120 日
トルエン	吸入した場合	聴覚系 ｜ 神経系 ｜ 眼 ｜ 嗅覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
トルエン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 2.3 mg/l	15 月
トルエン	吸入した場合	心臓 ｜ 肝臓 ｜ 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	4 週
トルエン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 入手できない	20 日
トルエン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	8 週
トルエン	吸入した場合	造血器系 ｜ 脈管系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	肝臓 ｜ 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 600 mg/kg/day	14 日
トルエン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/day	28 日
トルエン	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/day	4 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
ヘキサン	誤えん有害性
シクロヘキサン	誤えん有害性
メチルイソブチルケトン	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ベンジル＝３－（イソブチリルオキシ）－１－イソプロピル－２，２－ジメチルプロピル＝フタラート	16883-83-3	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
ベンジル＝３－（イソブチリルオキシ）－１－イソプロピル－２，２－ジメチルプロピル＝フタラート	16883-83-3	緑藻類	実験	96 時間	EC50	>100 mg/l
塩素化アルカン（C20-28）	2097144-43-7	ニジマス	推定値	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
塩素化アルカン（C20-28）	2097144-43-7	ミジンコ	推定値	24 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
塩素化アルカン（C20-28）	2097144-43-7	ニジマス	推定値	60 日	水への溶解限界において毒	>100 mg/l

					性は見られない	
塩素化アルカン（C20-28）	2097144-43-7	ミジンコ	推定値	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	緑藻類	エンドポイントに達しない。	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	該当なし	推定値	96 時間	EC50	2.12 mg/l
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	96 時間	LC50	17.2 mg/l
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	魚	推定値	96 時間	LC50	8.3 mg/l
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	液状化	実験	4 時間	NOEC	6.1 mg/l
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	ニジマス	推定値	28 日	LC10	0.188 mg/l
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	2.08 mg/l
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	緑藻類	実験	72	NOEC	2.53 mg/l
シクロヘキサン	110-82-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	4.53 mg/l
シクロヘキサン	110-82-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.9 mg/l
シクロヘキサン	110-82-7	バクテリア	実験	24 時間	IC50	97 mg/l
N，N－ジメチルホルムアミド	68-12-2	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	7,100 mg/l
N，N－ジメチルホルムアミド	68-12-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>1,000 mg/l
N，N－ジメチルホルムアミド	68-12-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	13,100 mg/l
N，N－ジメチルホルムアミド	68-12-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	>1,000 mg/l
N，N－ジメチルホルムアミド	68-12-2	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	>1,000
ヘキサン	110-54-3	ファットヘッドミノウ	実験	96 時間	LC50	2.5 mg/l

		（魚）				
ヘキサン	110-54-3	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	3.9 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	2,993 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	2,029 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	308 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	1,289 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,150 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	緑藻類	実験	96 時間	EC50	400 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>200 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>179 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	32 日	NOEC	56.2 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	78 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	液状化	実験	30 分	EC50	>1,000
テトラヒドロフラン	109-99-9	液状化	実験	3 時間	IC50	460 mg/l
テトラヒドロフラン	109-99-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	2,160 mg/l
テトラヒドロフラン	109-99-9	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	3,485 mg/l
テトラヒドロフラン	109-99-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	33 日	NOEC	216 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

(IV)						
トルエン	108-88-3	ギンザケ	実験	96 時間	LC50	5.5 mg/l
トルエン	108-88-3	テナガエビ	実験	96 時間	LC50	9.5 mg/l
トルエン	108-88-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	12.5 mg/l
トルエン	108-88-3	トノサマガエル	実験	9 日	LC50	0.39 mg/l
トルエン	108-88-3	カラフトマス	実験	96 時間	LC50	6.41 mg/l
トルエン	108-88-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.78 mg/l
トルエン	108-88-3	ギンザケ	実験	40 日	NOEC	1.39 mg/l
トルエン	108-88-3	珪藻	実験	72 時間	NOEC	10 mg/l
トルエン	108-88-3	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.74 mg/l
トルエン	108-88-3	液状化	実験	12 時間	IC50	292 mg/l
トルエン	108-88-3	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	29 mg/l
トルエン	108-88-3	バクテリア	実験	24 時間	EC50	84 mg/l
トルエン	108-88-3	シマミミズ	実験	28 日	LC50	>150 mg/kg(体重)
トルエン	108-88-3	土壌微生物	実験	28 日	NOEC	<26 mg/kg（乾燥重量)

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ベンジル＝３－（イソブチリルオキシ）－１－イソプロピル－２，２－ジメチルプロピル＝フタラート	16883-83-3	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	40 %BOD/ThOD	OECD 301F
塩素化アルカン（C20-28)	2097144-43-7	推定値 生分解性	25 日	生物学的酸素要求量	7.5 %BOD/ThOD	
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シクロヘキサン	110-82-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	77 %BOD/ThOD	OECD 301F
シクロヘキサン	110-82-7	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	4.3 日（t 1/2)	
Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	68-12-2	実験 生分解性	21 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	100 DOC除去%	OECD 301E - 修正OECDスクリーニング試験
ヘキサン	110-54-3	実験 生態濃縮	28 日	生物学的酸素要求量	100 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
ヘキサン	110-54-3	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	5.4 日（t 1/2)	
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	83 %BOD/ThOD	OECD 301F

メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	2.3 日（t 1/2）	
テトラヒドロフラン	109-99-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	39 %BOD/ThOD	
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トルエン	108-88-3	実験 生分解性	20 日	生物学的酸素要求量	80 %BOD/ThOD	APHA標準試験水/排水
トルエン	108-88-3	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	5.2 日（t 1/2）	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ベンジル＝３－（イソブチリルオキシ）－１－イソプロピル－２，２－ジメチルプロピル＝フタラート	16883-83-3	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	79	
塩素化アルカン（C20-28）	2097144-43-7	推定値 BCF - 魚	60 日	生物濃縮係数	37.6	
塩素化アルカン（C20-28）	2097144-43-7	推定値 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	≥7.63	
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シクロヘキサン	110-82-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	129	OECD305-生体濃縮度試験
シクロヘキサン	110-82-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	3.44	
Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	68-12-2	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	1.2	OECD305-生体濃縮度試験
Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	68-12-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	-1.01	
ヘキサン	110-54-3	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	50	Catalogic™
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	0.3	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体

						クロマトグラフィー
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	1.9	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
テトラヒドロフラン	109-99-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	0.45	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	
トルエン	108-88-3	実験 BCF－その他	72 時間	生物濃縮係数	90	
トルエン	108-88-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	2.73	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名：　１１３９　コーティング液

輸送分類（IMO）：3　引火性液体

輸送分類（IATA）：3　引火性液体

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用

すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
労働安全衛生法：施行令別表第三第二項および第三項　特定化学物質
化管法：第１種指定化学物質
消防法：第四類第一石油類
船舶安全法、航空法：引火性液体類
労働安全衛生法：施行令別表第一　危険物
労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号　がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
酸化アンチモン（３＋）	三酸化二アンチモン	該当	該当	該当
シクロヘキサン	シクロヘキサン	該当	該当	該当
Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	該当	該当	該当
ヘキサン	ヘキサン	該当	該当	該当
ヘキサン	ノルマル-ヘキサン	該当	該当	該当
メチルエチルケトン	メチルエチルケトン	該当	該当	該当
メチルイソブチルケトン	メチルイソブチルケトン	該当	該当	該当
テトラヒドロフラン	テトラヒドロフラン	該当	該当	該当
酸化チタン(Ⅳ)	酸化チタン(Ⅳ)	該当	該当	該当
トルエン	トルエン	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
酸化アンチモン（３＋）	アンチモン及びその化合物	31	第1種指定化学物質
シクロヘキサン	シクロヘキサン	629	第1種指定化学物質
Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	Ｎ，Ｎ－ジメチルホルムアミド	232	第1種指定化学物質
テトラヒドロフラン	テトラヒドロフラン	674	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報
改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていま

すが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。